

EASTERN WASHINGTON UNIVERSITY

Washington Short-Term Program



Classes

WSPプログラム活動報告

この数週間、学生たちは各授業において順調な成長を見せています。特に第2週から第3週にかけては自信の向上が見られ、授業中の発言や意見交換も活発になってきました。学生たちは英語で自分の考えを説明する力を伸ばしながら、プログラムの学習リズムにも徐々に慣れてきています。

****Career Exploration (キャリア・エクスプロレーション)****の授業では、学生たちはキャリアフェアに参加し、地元企業の担当者と交流しました。企業の代表者にインタビューを行い、現在の就職市場で求められている職種やスキルについて学びました。また、ホスピタリティ業界について理解を深め、そのキャリアの可能性についても考察しました。授業の一環として、歴史あるダavenportホテルの見学ツアーにも参加しました。

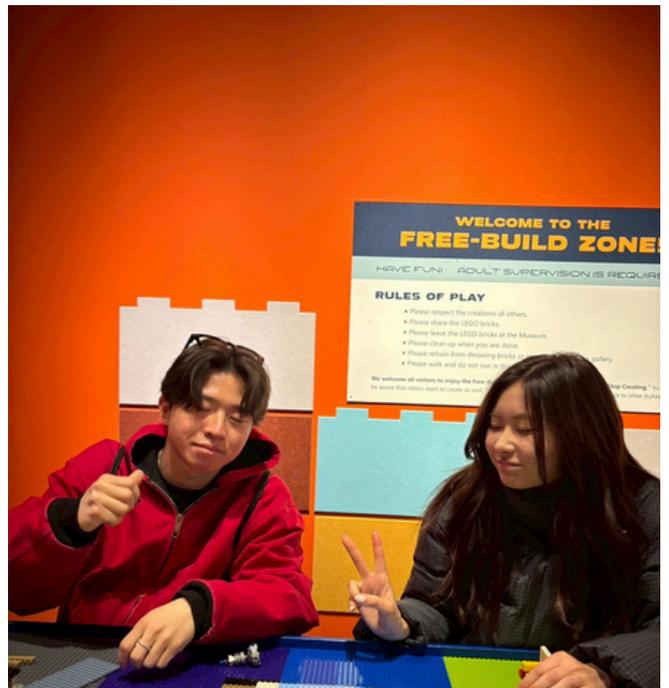
現在、学生たちはチームごとに日常生活の課題を解決する革新的な商品のアイデアを考案するプロジェクトに取り組んでいます。各チームは4分間のビデオ広告を制作するとともに、商品の説明、キャッチフレーズ、イラストを含むパンフレットの作成を行っています。

****English Communication (英語コミュニケーション)****の授業では、EWUの学生ボランティアとの会話活動を通して、英語によるコミュニケーション能力の向上を図っています。学生たちはより具体的に説明することや、フォローアップ質問をすること、言語・非言語の両方の反応を使った会話練習を行いました。また、短い回答だけでなく、内容を広げて話す力も向上してきています。さらに、EWUの学生に人気のスラッグについてインタビューを行い、その内容についてクラスでプレゼンテーションを行いました。





****Pacific Northwest History (太平洋岸北西部の歴史)****
 の授業では、ネイティブ・アメリカンの部族、ルイス&クラーク探検隊、サカガウィアについて学習しました。学生たちはEWUキャンパス内を見学し、大学の初期の歴史について学ぶとともに、サカガウィア像も見学しました。また、太平洋岸北西部の部族についてグループで5分間のPowerPointプレゼンテーションを作成しました。さらに、ネイティブ・アメリカン・ヒストリーセンターを訪問し、ビーズワーク体験も行いました。加えて、授業の一環として2回の校外学習を実施しました。1回目はEWUキャンパスおよびチェニー市内を巡り、大学や地域の歴史について学びました。2回目はスポケーンのノースウエスト芸術文化博物館 (MAC) およびキャンベルハウスを訪問しました。キャンベルハウスは1898年に建てられた歴史的な邸宅で、20世紀初頭の建築様式や当時の生活様式を紹介しています。





Activities

文化活動・キャンパス活動

学生たちは2月中、さまざまな文化活動やキャンパス活動に参加しました。グローバルフレンズクラブでは、AUAPの学生たちが協力してパズルを解き、制限時間内に「脱出」を目指すエスケープゲームが開催されました。学生たちはこのアクティビティを、挑戦的でありながらとても楽しい体験として感じていました。

また、歴史あるダavenportホテルを訪れ、豪華なロビーや有名な客室を見学しながら、スポケーンの歴史におけるこのホテルの重要性について学びました。さらに、MAC（ノースウエスト芸術文化博物館）では、地域の歴史、芸術、文化に関する展示を見学しました。併設されているキャンベルハウスも訪れ、100年以上前のスポケーンの家生活や暮らしの様子を知る機会となりました。

これらの文化体験に加え、学生たちはキャンパス内で開催されたEWUのイベントにも積極的に参加しました。毎週行われる会話グループや、多文化センターによるボランティア主導のアクティビティナイト、冬をテーマにしたクラフトワークショップなどに参加し、花のディスプレイやフレーム作りなどの活動を体験しました。

さらに、2月末にはEPIC Adventuresが主催するナイトスキー&スノーボードツアーにも参加しました。学生たちはマウントスポケーンを訪れ、EWUの学生たちと交流しながらウィンタースポーツを楽しみました。